



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
 コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 山口 喜久
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5323-0231

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	63,383	6.4	1,375	52.9	1,443	51.8	610	59.5
2019年3月期第3四半期	67,734	5.4	2,919	11.9	2,993	5.3	1,507	42.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 389百万円 (59.4%) 2019年3月期第3四半期 961百万円 (72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	10.32	
2019年3月期第3四半期	25.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	99,859	55,472	52.2
2019年3月期	105,189	55,849	49.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 52,175百万円 2019年3月期 52,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		11.00	11.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当予想につきましては、未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	3.6	2,000	46.9	1,700	54.9	1,200	40.5	20.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	63,060,164 株	2019年3月期	63,060,164 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	3,863,836 株	2019年3月期	3,863,270 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	59,196,583 株	2019年3月期3Q	59,197,307 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善などを背景として個人消費の緩やかな回復がみられるものの、輸出の低迷から景気の足踏み感が続いております。海外においては、米国経済及び中国経済は米中貿易摩擦の影響などにより景気の減速がみられ、世界経済は、地政学的リスクも高まり、先行きは不透明感が増しております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、世界的な自動車販売台数の減少がある一方、自動車の電装化が進展しております。

当社グループは、車載向けの販売が増加したものの、通信関連機器やアミューズメント等の販売が減少し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は633億83百万円(前年同期比6.4%の減収)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少及び国内生産工場の稼働率低下の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は13億75百万円(前年同期比52.9%の減益)となりました。また、経常利益は営業利益の減少などにより14億43百万円(前年同期比51.8%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億10百万円(前年同期比59.5%の減益)となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

自動車の電装化の進展を受けて車載向けの販売が増加したものの、通信関連機器やアミューズメントの販売が減少したことに加え、台風19号によるサプライチェーンの乱れに伴う材料供給の遅れとそれによる生産減少などの影響もあり、売上高は363億67百万円(前年同期比6.1%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少及び生産工場の稼働率低下などにより、セグメント利益は2億30百万円(前年同期比86.4%の減益)となりました。

(中国)

中国では、自動車販売が低調に推移している影響を受けて車載向けの販売が減少したほか、アミューズメント向けの販売も減少し、売上高は114億38百万円(前年同期比9.0%の減収)となりました。

利益面では、生産性の改善及び人民元が対米ドルで通貨安に推移したことなどにより、14億30百万円のセグメント利益(前年同期比53.0%の増益)となりました。

(東南アジア)

東南アジア経済は、輸出が減少するなど景気の減速基調が見られており、タイにおいてもパーツ高に伴う輸出競争力の低下や自動車販売の低調な推移があったものの、当社においては車載向けを中心に販売が増加し、売上高は110億23百万円(前年同期比0.5%の増収)となりました。

利益面では、タイの増産投資に伴う費用負担により、セグメント損失は72百万円(前年同期は3億48百万円のセグメント利益)となりました。

(欧米)

欧州、米国共に、自動車販売台数が低調に推移しており、当社においても車載向けでの販売が減少し、売上高は45億54百万円(前年同期比16.6%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少に伴い、セグメント利益は2億40百万円(前年同期比25.3%の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.8%減少し、526億23百万円となりました。これは、主に現金及び預金が78億88百万円、受取手形及び売掛金が10億71百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、472億円となりました。これは、主に有形固定資産が27億36百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、998億59百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、240億54百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が17億27百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.2%減少し、203億32百万円となりました。これは、主に長期借入金が20億40百万円、社債が10億51百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.0%減少し、443億87百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、554億72百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が5億47百万円減少し、その他有価証券評価差額金が3億41百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年8月5日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,436	17,547
受取手形及び売掛金	24,061	22,989
商品及び製品	4,260	4,856
仕掛品	3,716	3,072
原材料及び貯蔵品	2,331	2,525
その他	1,282	1,693
貸倒引当金	△22	△61
流動資産合計	61,066	52,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,871	11,803
機械装置及び運搬具(純額)	13,244	15,975
土地	8,229	8,242
建設仮勘定	4,973	2,965
その他(純額)	1,184	1,252
有形固定資産合計	37,503	40,240
無形固定資産		
のれん	151	124
その他	188	220
無形固定資産合計	339	345
投資その他の資産		
投資有価証券	2,697	3,185
退職給付に係る資産	969	988
その他	2,583	2,470
貸倒引当金	△23	△28
投資その他の資産合計	6,228	6,615
固定資産合計	44,072	47,200
繰延資産		
社債発行費	50	34
繰延資産合計	50	34
資産合計	105,189	99,859

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,104	11,377
短期借入金	4,856	4,575
1年内償還予定の社債	602	1,352
未払法人税等	253	422
賞与引当金	496	204
事業構造再編費用引当金	129	126
その他	6,473	5,995
流動負債合計	25,917	24,054
固定負債		
社債	6,376	5,324
長期借入金	16,014	13,973
退職給付に係る負債	95	86
資産除去債務	157	159
その他	778	787
固定負債合計	23,422	20,332
負債合計	49,340	44,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,628	16,628
利益剰余金	14,451	14,411
自己株式	△3,134	△3,135
株主資本合計	50,251	50,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739	1,080
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	1,235	688
退職給付に係る調整累計額	233	196
その他の包括利益累計額合計	2,208	1,965
非支配株主持分	3,389	3,296
純資産合計	55,849	55,472
負債純資産合計	105,189	99,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	67,734	63,383
売上原価	57,933	54,957
売上総利益	9,801	8,425
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,444	2,535
賞与引当金繰入額	△42	△40
退職給付費用	20	14
その他	4,459	4,540
販売費及び一般管理費合計	6,881	7,050
営業利益	2,919	1,375
営業外収益		
受取利息	26	21
受取配当金	89	88
為替差益	131	296
その他	234	214
営業外収益合計	481	620
営業外費用		
支払利息	206	200
操業停止関連費用	—	142
その他	201	209
営業外費用合計	407	552
経常利益	2,993	1,443
特別利益		
固定資産売却益	11	0
投資有価証券売却益	10	17
特別利益合計	22	17
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	168	141
投資有価証券評価損	416	—
損害賠償金	73	41
その他	74	—
特別損失合計	737	183
税金等調整前四半期純利益	2,278	1,277
法人税等	402	377
過年度法人税等	224	50
四半期純利益	1,651	849
非支配株主に帰属する四半期純利益	143	238
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,507	610

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,651	849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△409	341
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△224	△764
退職給付に係る調整額	△56	△37
その他の包括利益合計	△690	△459
四半期包括利益	961	389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	978	368
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,732	12,571	10,970	5,459	67,734	—	67,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,547	9,580	6,540	—	17,668	△17,668	—
計	40,280	22,152	17,511	5,459	85,403	△17,668	67,734
セグメント利益	1,688	935	348	321	3,293	△373	2,919

(注) 1. セグメント利益の調整額△373百万円には、セグメント間取引消去487百万円、全社費用△861百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,367	11,438	11,023	4,554	63,383	—	63,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	869	10,310	7,589	3	18,773	△18,773	—
計	37,236	21,748	18,613	4,557	82,156	△18,773	63,383
セグメント利益又は損失 (△)	230	1,430	△72	240	1,829	△454	1,375

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△454百万円には、セグメント間取引消去446百万円、全社費用△901百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。